

平成27年度愛知県がんセンター公開講座(第6回)のご案内

「ロボット手術の展開について」

開催日時：平成28年2月20日(土) 午後2時～4時(開場1時30分)

場所：ウインクあいち〔愛知県産業労働センター〕5階 小ホール  
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

〈 講師からのメッセージ 〉

「泌尿器科領域におけるロボット手術(ダ・ヴィンチ)の実際について」

泌尿器科領域の手術において、低侵襲化が進んでいます。特に当院では、ロボット手術、腹腔鏡下手術、及びミニマム創手術(保険術式名：腹腔鏡下小切開手術)に取り組み、一つの手技に固執せず、柔軟に個々の症例に適切な低侵襲手術を提供しています。

2015年7月より、名古屋市内で最初に、最新式手術支援ロボットであるダヴィンチ Xi を導入し、手術支援ロボット補助下前立腺摘除を開始しました。

今回の公開講座では、早期前立腺癌に対する、手術支援ロボット補助下前立腺摘除の役割、利点を中心にお話しする予定です。今回の講演会で、ダヴィンチ Xi の実際を認識していただければ幸いです。

泌尿器科部 部長 曾我 倫久人

「腹腔鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」をつかった消化器(胃がん)の手術について」

日本人に最も一般的な胃がん・大腸がんなどお腹の臓器のがんは、検診で早期に発見すれば、手術など切除だけで完全に治るがんです。最近はがんを治すだけでなく、傷を小さくして体への負担をできるだけ少なくする低侵襲手術として腹腔鏡手術が広く行われるようになってきました。本公演では、胃がんの手術療法を中心に、腹腔鏡手術・ロボット支援手術についてのトピックスや当院での取り組みについてご紹介いたします。

消化器外科部 医長 三澤 一成

「内視鏡での咽喉頭がん手術について」

咽喉頭とはいわゆる「のど」のことです。咽喉頭は非常に多機能な臓器であり、「話す」「食べる」「息をする」と言った人間にとって大切な機能を担っています。従来、咽喉頭がんの手術は、首の皮膚を切開して、がんを切除する方法が中心に行われてきました。しかし、手術により咽喉頭の機能が失われることも多く、生活の質の低下を招いていました。近年、内視鏡を使用して、首の皮膚を切開せず口からがんを切除する技術が発達し、機能温存が可能となってきています。今回、咽喉頭がんの内視鏡手術について、お話しさせていただきます。

頭頸部外科部 医長 西川 大輔